

台風27号に向けた対応について

2013年 10月22日
福島第一原子力発電所



東京電力

検討状況

◆堰内の溜まり水については、現在も予断を許さない状況にあるが、台風27号に備えて、更なる溢水を防ぐべく、最大限の検討を行っているところであり、具体的には、以下のような対策を検討している。

1. 早期のサンプリング実施

各タンクエリア堰内水のサンプリングを事前に行い、水の性状を早期に把握しておく。

2. 堰内溜まり水排水

汲み上げポンプ、ホース、パワープロベスタにより4000トンタンクへの移送を実施し、堰内水位を予め低下させる。

3. 4000トンタンク水の移送

4000トンタンクの溜まり水について、T/Bへの排水を実施し、タンク容量を予め確保する(台風26号以降、継続実施)

4. 移送設備の増強

溢水が発生したエリア、および排出基準を超える堰内の溜まり水があるタンクエリアから4000トンノッチタンクへの移送能力増強をはかるため、汲み上げポンプ・ホースの容量増強を行う。(H4北は設置済み)